

誕生日を迎えて

そろそろ梅雨明けですね。また一つ年を取りました。幼いときから夏が好きでした。富田林市という大阪の田舎で育ったのですが、石川という二級河川が自分の生息場所でした。人生のどのくらいの時間をそこで過ごしたのか分かりませんが、ほとんど毎日何かを捕りに行っていた記憶があります。大阪に引っ越してからは石川とは縁が切れましたが、釣りも好きだったので、水辺とは縁が切れない人生だと思っていたのです。海に行かなくなったのはいつからでしょう。年がいつてきて、性格も変わってきたのでしょうか、いや、それより日焼けのことを家内から強く言われるようになってからです。2000年の頃、一緒に働いていた研修医が、夏休みに日焼けをして帰ってきたとき、先輩から、それは焼きすぎやと言われて、「医者には日焼けをする自由もないんですか？」と聞き返していたのをよく覚えています。そう、その頃から日焼けしすぎたらいかんという気持ちが芽生えていたので、海にはもう15年以上行ってないのです。(というか、できるだけ近づかないようにしている)

とても海が好きなので、悔しいですが、僕はとても日焼けしやすい体質です。毎日の通勤でも焼けてしまうので、男なのに、春から日焼け止め(SPF+50)を塗っています。日焼け体質の人は、地黒な上に、焼けると赤くなるのではなく、そのまま沈んだように黒くなります。一日外にいたら、夕方には黒人さんのようになってしまいます。20歳のころ、何も考えずに日焼けするがままにしていたら、愛媛県の宇和島で、「お兄ちゃん、よう焦げとんな！」と言われたことがあり、そのとき鏡に映った自分の体を見て、これはやりすぎだと思いました。一時期の松崎しげるさんレベルでした。

海に行かなくなったのは、臭いに対する嫌悪感もあるかもしれません。日本人は、以前よりも他人の体臭に対する感覚が鋭くなっています。許容範囲が狭まっています。自分が汗臭いのを気づかれないようにする反面、他人にもそのレベルを求めてしまうので、海の潮風臭いのが服につくのが嫌なのです。車にも魚の臭いがつくのが嫌で、魚釣りも辞めてしまいました。悲しい現実です。

しょうがなく、最近夏は時期は、市民プールに行くようにしています。芦屋には屋外プールが二つもあり、値段も屋内プールの半額の400円です。また、設備は古いですが、50Mプールなので、たくさん泳ぐにはとても気持ちが良いです。残念ながらカンカン照りの日には、家内から屋内プールで泳ぐように指示が出されるので、雨の降る日や、夕方などの太陽があまり気にならない時に泳ぐようにしています。

いま芦屋に一番欲しいものは、釣り堀です。好きなときに一時間1000円くらいで釣ることができて、買い上げなど無い施設があれば幸せな事この上ないのですが。奥池にはそれくらいの施設を作るキャパはありそうですが。どうか権力者の方、よろしく願います。